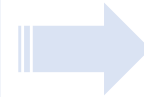


1 ビジョン策定の背景

- ◆ 日本全体の人口減少が進行する中、地方から都市圏への人口流出が続いている状況
- ◆ 一つの自治体のみで解決できない課題について、広域的に取り組んでいく必要が高まっている

2 ビジョン策定の趣旨

中核市である長野市と近隣市町村により、
連携中枢都市圏としてスクラムを組み、
各市町村の「お互いの強みを活かし、弱みを補う」



- ◆ 持続可能な地域社会の創生
- ◆ 圏域全体の活性化と発展

3 連携中枢都市圏を構成する市町村

長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、小川村、飯綱町

4 ビジョン策定の基本的視点

ビジョン策定の背景・趣旨を十分に踏まえた上で、現行のビジョンを活かしつつ実効性の高いビジョンとするため、以下の視点を重視して現行のビジョンを見直し、次期ビジョンを策定する

現行の具体的取組の見直し

- ◆ 新たに取り組むべき内容を検討
- ◆ 現行の取組の内、あまり実態を伴わないものについては、次期ビジョンにおける見直しも検討

各取組のKPIの見直し

- ◆ 取組ごとにレベル感に差があることから、適切な指標設定となるよう見直しを図る

関係機関との連携強化

- ◆ 長野県、長野広域連合との情報共有と連携を強化し、広域でのより効果的な取組を検討

次期長野地域スクラムビジョン策定方針(案)

5 ビジョンの概要

構成は現行のビジョンを引き継ぎ、以下のとおりとする

構成

序 策定の趣旨

I 連携中枢都市圏及び市町村の名称

II 連携中枢都市圏の中長期的な将来像

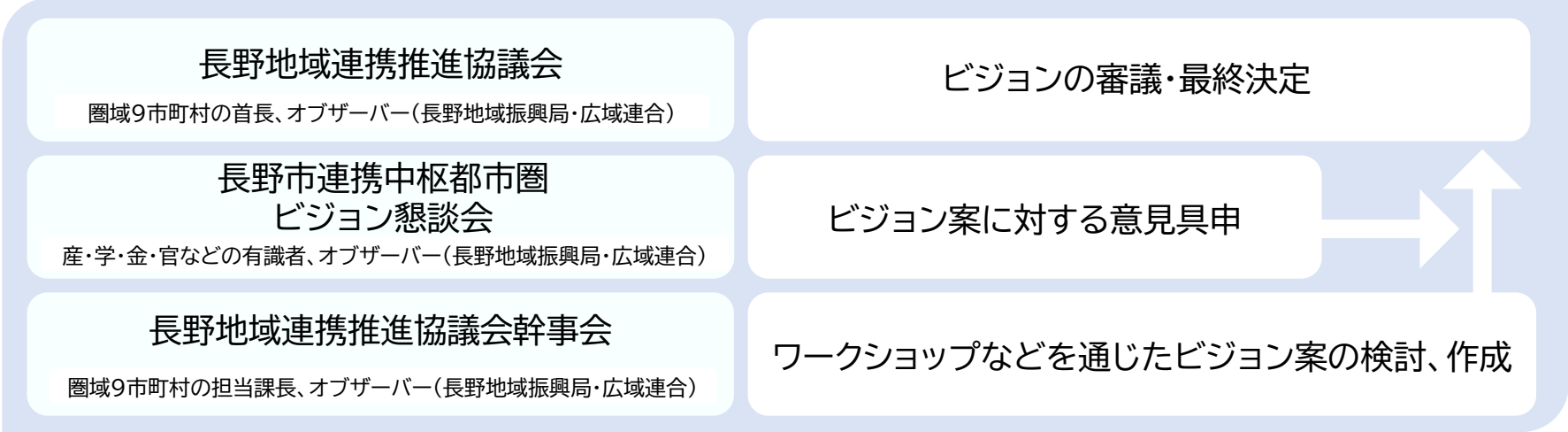
III 連携協約に基づき推進する具体的取組

IV 参考資料

期間

ビジョンの具体的取組の期間は
令和8年度から令和12年度までの
5年間とし、毎年度所要の変更を行う

6 策定体制



次期長野地域スクラムビジョン策定予定表(案)

長野地域連携中枢都市圏ビジョン(長野地域スクラムビジョン)の取組期間である5年間で令和8年3月末で終了することに伴い、次期長野地域スクラムビジョンの策定に向けて、令和7年度に以下の2点を行う。

- ✓ 現行ビジョンの取組の成果と課題の総括
- ✓ 次期ビジョンの事業検討(基礎調査・分析結果の検証、既存事業の改廃及び新規事業の検討)

